

令和5年度 幸手市「児童生徒の新体力テスト」の結果

1 調査の目的

- (1) 児童生徒に自己の体力を理解させ、自ら健康の増進・体力の向上を図れるようにする。
 (2) 教師が児童生徒の体力の実態を把握し、体育指導等の参考とする。

2 調査方法

- (1) 実施期間 令和5年5月～6月
 (2) 対 象 県内の公立小・中学校及び公立高等学校の全児童生徒（さいたま市を除く。）
 (3) 実施項目 新体力テスト実施要項（文部科学省）に規定するテスト項目

①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤持久走（※1） ⑥20mシャトルラン ⑦50m走 ⑧立ち幅跳び ⑨ボール投げ（※2）
※1：「持久走」中学校のみ実施
※2：「ボール投げ」で使用するボールは、小学校はソフトボール、中学校はハンドボールを使用

3 「新体力テスト」の評価

文部科学省が示す基準に従って、年齢と項目別の記録に応じて点数化し、8項目の点数の合計により、A～E段階で評価する。

4 調査結果

(1) 令和5年度 幸手市「児童生徒の新体力テスト」平均値一覧表（男）

		小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力 (kg)	幸手市	9.29	11.38	12.66	14.14	17.07	19.19	23.91	28.62	34.62
	県平均	9.01	10.59	12.34	14.06	16.17	19.07	23.85	29.68	34.49
	比較	—	○	—	—	○	—	—	×	—
上体起こし (回)	幸手市	11.42	15.72	18.23	18.93	21.57	21.34	25.77	28.41	29.24
	県平均	12.27	15.34	17.49	19.18	20.92	22.69	24.76	28.25	30.75
	比較	—	—	—	—	—	×	○	—	×
長座体前屈 (cm)	幸手市	28.76	30.69	32.56	33.82	35.72	38.78	42.91	47.46	53.30
	県平均	27.47	29.23	31.14	33.19	35.85	38.04	43.10	48.09	52.19
	比較	○	○	○	—	—	—	—	—	—
反復横とび (点)	幸手市	28.84	30.96	36.67	39.81	44.78	46.05	48.88	52.54	52.61
	県平均	27.88	31.97	35.52	39.23	43.02	46.16	48.05	51.89	54.71
	比較	○	—	○	—	○	—	—	—	×
持久走 (秒)	幸手市							422.29	400.72	388.49
	県平均							426.39	393.24	377.98
	比較							—	—	×
20mシャトルラン (回)	幸手市	22.33	32.03	39.44	45.14	54.36	54.32			
	県平均	21.09	30.30	37.87	44.69	51.40	59.23	69.61	81.88	85.65
	比較	—	—	—	—	—	×			
50m走 (秒)	幸手市	11.48	10.73	10.13	9.75	9.32	8.80	8.19	7.85	7.46
	県平均	11.56	10.72	10.18	9.77	9.39	8.93	8.55	7.90	7.49
	比較	—	—	—	—	—	—	○	—	—
立ち幅とび (cm)	幸手市	118.85	129.27	136.46	148.73	156.53	165.99	183.19	196.43	210.97
	県平均	116.53	127.80	137.00	145.64	155.05	165.55	182.81	201.91	216.06
	比較	—	—	—	—	—	—	—	×	×
ボール投げ (m)	幸手市	8.17	11.06	14.25	17.43	20.21	22.36	18.09	21.47	23.37
	県平均	8.04	10.85	13.76	16.80	19.65	22.78	17.79	21.26	24.25
	比較	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○：県平均値を上回っているもの ×：県平均値を下回っているもの —：県平均値と有意差がないもの(統計学的検定による)

男子	小学校 48項目			中学校 24項目			合計 72項目		
	○	—	×	○	—	×	○	—	×
数	8	38	2	2	16	6	10	54	8
%	16.7	79.2	4.2	8.3	66.7	25.0	13.9	75.0	11.1

(2) 令和5年度 幸手市「児童生徒の新体力テスト」平均値一覧表(女)

		小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力 (kg)	幸手市	9.36	10.43	12.76	13.92	16.82	19.82	21.82	23.47	25.54
	県平均	8.53	10.06	11.79	13.65	16.22	19.10	21.58	24.06	25.57
	比較	○	○	○	—	○	○	—	—	—
上体起こし (回)	幸手市	11.16	16.22	17.71	19.25	20.98	21.60	23.92	24.75	24.14
	県平均	11.80	14.82	16.96	18.66	20.14	21.25	22.13	24.71	26.27
	比較	—	○	—	—	○	—	○	—	×
長座体前屈 (cm)	幸手市	31.05	31.67	37.15	37.35	40.49	43.34	46.39	49.40	52.12
	県平均	29.98	32.34	34.90	37.46	40.89	43.67	46.89	50.25	53.07
	比較	—	—	○	—	—	—	—	—	—
反復横とび (点)	幸手市	27.44	28.90	36.55	38.53	41.57	43.02	45.02	46.82	45.36
	県平均	26.71	30.54	33.82	37.64	41.16	43.62	44.46	46.58	47.47
	比較	—	×	○	—	—	—	—	—	×
持久走 (秒)	幸手市							307.92	303.53	303.78
	県平均							307.56	293.30	291.61
	比較							—	×	×
20mシャトルラン (回)	幸手市	19.93	27.35	32.27	36.49	45.49	46.27			
	県平均	17.79	24.14	29.41	35.62	41.87	46.90	51.95	56.72	56.44
	比較	○	○	○	—	○	—			
50m走 (秒)	幸手市	11.59	10.89	10.29	9.91	9.45	9.11	8.64	8.71	8.67
	県平均	11.87	11.06	10.50	10.04	9.59	9.19	9.07	8.75	8.64
	比較	○	○	○	—	○	—	○	—	—
立ち幅とび (cm)	幸手市	111.32	123.43	134.23	142.89	151.61	156.15	166.18	167.88	165.68
	県平均	109.22	119.72	129.96	139.80	149.33	157.13	165.00	172.42	175.73
	比較	—	○	○	○	—	—	—	×	×
ボール投げ (m)	幸手市	5.41	7.45	10.20	12.88	14.93	15.83	12.35	13.27	14.01
	県平均	5.69	7.43	9.36	11.34	13.29	14.94	11.62	13.52	14.64
	比較	—	—	○	○	○	○	○	—	—

○: 県平均値を上回っているもの ×: 県平均値を下回っているもの —: 県平均値と有意差がないもの(統計学的検定による)

女子	小学校 48項目			中学校 24項目			合計 72項目		
	○	—	×	○	—	×	○	—	×
数	24	23	1	3	15	6	27	38	7
%	50.0	47.9	2.1	12.5	62.5	25.0	37.5	52.8	9.7

5 結果と考察

【男子】

令和5年度は、県平均値を上回る項目が10項目(5種目)でした。小学校1年生から5年生までは、県平均値を下回る項目が1つもなく、特に握力、長座体前屈、反復横跳びで成果を残せました。中学校では50m走で成果を残しており、脚力の強さがありますが、上級生になると持久力や瞬発力に関する項目で県平均を下回る項目が見られるようになっていきます。

握力とボール投げについては、それぞれ9項目中8項目で県平均を上回っており、各校で課題として取り組んできた成果が現れています。

男子については、小学校段階から適切に体幹の筋肉を鍛えつつ、中学校への敏捷性につなげ、中学校では継続して持久力を保っていく必要があるといえます。

【女子】

全体として県平均値を上回る項目が多く、27項目（8種目）で高い水準での成果を残すことができました。握力と50m走、ボール投げにおいて、有意に県平均値を上回る項目が多く、運動特性として力強さが秀でています。一方で反復横跳び、持久走、立ち幅跳びが課題種目であり、敏捷性、持久力等が低下傾向であると言えます。

女子については、全身を使った瞬発力をバランスよく鍛えつつ、中学校では継続して持久力を保っていく必要があるといえます。

【全体】

男女ともに、50m走と長座体前屈、ボール投げで成果を残せています。とりわけ、小学校女子で県平均値を上回る項目が多い傾向にあります。全体としては、立ち幅跳びと持久走に課題があり、体をタイミングよく運動させる動作や持久力を育む必要があります。今後は、体育授業を核とした各種種目の技能指導の充実と、適切な運動習慣による継続した体力の保持が必要です。